



【電話相談／仙北市保健課】
《固定電話》 ☎ 43-2252
《携帯電話》 📞 080-2813-0835

仙北市子育て世代包括支援
センター「なないろ」
妊娠期から子育て期までの切れ目
ない支援をします。



仙北市ホームページ
はコチラ！



こどもの事故防止・予防法について

行動範囲が広がる乳幼児期は事故の種類が多様になるため、家の中はもちろん、屋外でも事故の注意が必要です。今回は家庭内でよく起こりやすい事故や夏に発生しやすい事故の内容と予防方法です。今後の参考にして、事故のないよう気をつけて過ごしましょう。

	事故の内容やポイント	予防方法
<u>転倒・転落</u>	・こどもは体に対して頭が大きく重いため、転倒転落すると頭を強く打ちやすい特徴があります ・転倒だけでも硬膜下血腫が起こることがあるため、転倒後は意識があるか、けいれん、嘔吐はないか等こどもの様子をよく観察しましょう	・ベビーバットの柵は必ず上げる ・物につまづいたり、すべて転んだりしないように、床は整理整頓する ・階段などには乳幼児用の移動防止柵(ベビーゲート)をとりつける。 ・ベッドやイス、ソファなどの上で遊ばせない ・踏み台になりそうなものをベランダや窓の近くに置かない
<u>誤飲・窒息</u>	・生後 7・8 か月から増加し、3・4 歳頃までは誤飲事故が多いため注意しましょう ・親指と人差し指で作る輪に入る大きさのものはこどもの口に入り、誤飲・窒息に繋がります。小さいことを覚えておきましょう	・タバコや灰皿を置きっぱなしにしない ・薬や化粧品は引き出しや戸棚に入れる ・小さなものはこどもの手の届かないところへ置く ・台所で洗剤やアルコール類を放置しない ・ボタン電池やコインを放置しない
<u>やけど</u>	・やけどをした部分が広く、深いほど危険です ・やけどの重傷度の判断は難しいため、判断がつかない場合は受診しましょう	・炊飯器、電気ポットなどの熱いものはこどもの手の届かないところにおく、または遠ざける ・テーブルクロスなどは使用しない ・台所には入れないよう工夫する
<u>熱中症</u>	・こどもは大人に比べて体温調節機能が未熟で熱中症になりやすいため予防が大切です ・熱中症は屋外だけではなく、クーラーをかけている車の中や室内でも多く発生するため注意しましょう	・こまめな水分補給をする ・強い日差しはさける ・尿の量や回数を観察する ・気温と湿度に合わせて衣服を調整する ・車内や屋内では室温を 27～28 度にする
<u>溺水</u>	・1 歳前後では屋外よりも特に家庭の浴槽での事故が多く、目を離したほんのわずかな時間でも事故が発生しやすいのが特徴です ・家庭内ではお風呂以外でもトイレや洗濯機など水が溜まっているところは危険です	・浴室やトイレなどにこどもを一人にしない ・浴槽の水は必ず抜いておく、または鍵を閉めて入れないように配慮する ・入浴の際、大人が髪を洗うときはこどもを浴槽から出す

こども救急電話相談室について

秋田県では、夜間におけるこどもの病気への対応方法や応急処置などを相談できる「こども救急電話相談室」を毎日開設しています。受診について判断に迷うときにお気軽に電話で相談してください。

◆毎日 19:30～22:30

◆電話番号 018(895)9900 #8000 プッシュ回線固定電話、携帯電話からかけるとき

